

曉

堀尾 トメ

花より明くる春の曙やうくはれ行く霞の間から
顔さし出す紫の山、ほんとうに百敷の大宮人の花折
りかざした、らうたき姿にも似てゐるではないか。
月の宿りを怪む夏の朝露を帯びたる籬の牽牛花は端
に詠めてゐる雅人のやうで、肌心地のよい朝の風は
今し雅人を襲はむとする炎帝の猛威を拂ふ準備をし
てゐるのだともみえる。

残んの月に置く霜白き秋の曉、狹霧の奥に聳え立つ
たる山の姿は彼の俗塵を離れて高き君子にもたと
へられるやうで、身にしみ渡る清き風はその養ひな
した盛徳が天地の間に擴充するのだとも思はれる。
野寺の鐘の聲冴えてあたり静けき冬のあかつき、野
山に家に庭に降りつもつた、たゞ白妙なる雪の心こ
そ實に一切衆生を濟はむとする平等無差別、一視同
仁なる佛の御手とも仰がれるのである。
景物としての曉は上記の通である次に少しく人事
としての曉を述べやう。

校庭の春

(二階の廊下の窓か
ら運動場を見る)

緑と紅のしぼりに萌え出た紅葉の若葉、その蔭か
らのぞく櫻はもう力の限り花を咲かせたやうに美し
く、あたりに何となく春の光が満ちて居ります、ポー
ルは小鳥のやうな皆さんの心を奪つて、あちらへ飛
び、こちらへころがり、はては枝のたわんだ紫陽花の
根もとに走り込んで、皆さんを困らせて居ります。や
つとポールが親の手元近く運ばれると見るまに、丈
のお高い方が受取つて遠くむかふにお投げになりま
した。小さい方は飛び上つて取つて、又反對の方にお
投げになります。持つて生れた務とは申しながら、
ポールも可愛そうになど思つてゐる間に、何時何處
からお出でになつたのか、伊藤先生が漏斗を持つて、
大きく8の字を書きながら水を蒔いていらつしやい
ます。水は立ち上るほこりを沈めて、心持よく地に
しみこんでしまひます。先生は時々御手をお休めに
なつて、御嬉しそくに皆さんの元氣な御様子を御覽
になつて、又8の字を繰り返していらつしやいま

玉を綴つてゐる朝露は充實の相である、茜さし出
る旭の光は希望の色である。暗黒の帷開けて光明の
世界が將に來らうとしてゐる。竹院瀟洒たる處こゝ
にここに尙友の人がある、板橋霜白い處こゝに遠征
の家がある。煙突煤なき處こゝに就職の工人があ
る、物質界精神界に於けるあらゆる人事の活動は今
起らうとするのである、個人社會進歩の一過程は今
始らうとするのである。

朝露のかげは虚偽の相である旭の光は墮落の色で
ある、桔槔鳴る處こゝに粉黛を装ふ少女がある。車
馬轟輦たる處、そこに金鎖を飾る才子がある、器皿
相觸るゝ處こゝに口腹の奴隸となる無頼漢がある、
物質界精神界に於けるあらゆる人事の墮落は今起ら
うとするのである個人社會の淫靡退歩の一過程は今
始らうとするのである。あゝ』

す。この間まで北風になやんだこの窓から見下せば、
右手の方、家根と窓ばかりよく見える教官室のわき
のブランコに乗つて、この騒ぎも御存じないやう
に、ゆら／＼と前後にふられながら、ゆつたりと青
い空を眺めていらつしやるのんきさうな方もあれ
ば、こちらの臺に腰掛けて、足をぶら／＼させなが
らお話をしていらつしやる方もございます。私共が
二年の春、戸たてぐもの巢を見つけようと苦心した
躑躅の木あたりは、又青々と若草に包まれて、そ
のそばの腰掛に集つた五六人の方の面白さうな笑ひ
聲も折々はれやかに聞えてまゐります。正面に一き
は目立つて見える講堂の方を眺めると、その左手に
ならぶ寄宿舎のむかふから、すつくりと一本高く見
える櫻は今真盛りで、自ら目を引かれます。お茶の水
の川ぶちの櫻は多くの人にもてはやされますが、い
たづらな子供の爲に悲しい思ひをして居りますが、そ
れを思へば、毎日學徳の高い本校の方々に愛せられ、
名歌名文にのぼるこの櫻こそ、誠に幸なのでござ
います。このやうなことを思ひながら、ふと元のど
ころに目を戻しましたとたんに、すつと上つたポー

ルは紅葉の枝にぶつかつて、ひらくと一葉枝をはなれました。すばやくお拾ひになつた方は、ついそばの腰掛におかけになつて、後から走つていらつしやつた方と、さも可愛くてたまらぬやうに、その若

いやはらかい柄を持つたり、まだ開かない芽をいぢつたりなさいます。あゝやさしい御心ようれしうございました。
附屬高女三年 坂井 貞

本校は大正四年五月以來教官中より委員を設けて時局と今後の女子教育に關する研究調査を爲さしめつゝあり。左に録する所は、「今後の女子教育に於て特に注意すべき事項」及び「時局に關する訓話の實施方法」に關し、頃日右委員會より調査報告せるものに係る。

大正五年三月

東京女子高等師範學校

今後の女子教育に於て特に注意すべき事項

(イ)女子教育全般に關する事項

- 一、健全なる愛國心の養成に一層注意すること
 - 二、世界の大勢及我が國の眞價を知らしめ本邦女子としての覺悟を與ふること
 - 三、歐米諸國の女子の特色(長所短所)を知らしめ本邦女子の自覺奮勵を促すこと
 - 四、自治の精神を養ひ責任の念を強からしめ又進んで活動するの精神を養はしむること
 - 五、勤勞の價値を意識せしめ勤勞を好む習慣を養ふこと
 - 六、科學的思想を尊重し創作工夫の能力を養はしむること
 - 七、體育の必要を一層深く感知せしめ此が改善を圖ること
- (ロ)修身科に關する事項

- 一、本邦女子固有の美德を一層深く自覺せしむること
- 二、歐洲交戰國に於ける女子の精神及活動を知らしめ生徒の修養に資せしむること
- 三、戰時に於ける女子の任務を全うする覺悟を養はしむること
- 四、浮華を去り質素を旨とし簡易生活を重んぜしむること
- 五、勇敢進取の氣象を養ひ海外發展の時勢に適應せしむること

(ハ)國語科に關する事項

- 一、國語教育の價値を尊重し國民的精神の發揚と品性の陶冶とに一層努力すること
- 二、講讀及び作文の教授に於ては特に時局資料を生用するに努むること
- 三、世局の推移國運の發展と共に將來に於ける國語國文の統一整理に對して特に女子の注意を促すこと
- 四、女子用の國語教科書を改善し以上の目的に適應せしむること

(ニ)歴史科地理科に關する事項

- 一、我が國體の尊嚴を自覺せしむるに一層努力すること
- 二、歐米最近の形勢及び其の本邦に及ぼせる影響を知らしむること
- 三、列強諸國の文化並に各國民の特性に注意せしむること
- 四、歐洲戰亂の貿易交通に及ぼせる影響を知らしむること
- 五、新領土殖民地に關する智識を一層増進せしめ又海事思想の養成に努むること

(ホ)理科數學科に關する事項

- 一、左の諸項につき特に注意すること
- イ、主要なる食料品藥品工業品及其の原料たるべき動物植物礦物の種類
- ロ、以上諸品の産地産額輸出入額價格及製法の概要